

建設工事等における入札参加者全員を対象とする 資格要件の抜打ち審査

1 現状と課題

- 受注希望型競争入札では、開札後に落札候補者のみ入札参加資格要件の審査を行っている。（別紙1）
- 審査の結果、落札候補者が入札参加資格要件を満たさないことが判明し、落札候補者の取消し等を行う件数が平成29年度以降増加している。（別紙2）
- 入札参加資格要件を満たさない者が入札に参加することは、落札候補者の取消しや適格者の再審査等の事務手続きに時間を要するとともに、適正な競争を損ねる恐れがあるため対応が必要となっている。

2 取組内容

- 落札者決定後、落札者以外の入札参加者全員を対象とする資格要件の抜打ち審査を実施する。
- 抜打ち審査の対象は、各発注機関が案件の内容等を踏まえ選定する。
- 各発注機関は、入札参加資格要件審査書類の提出を求め、審査を行う。
- 入札参加資格要件を満たさない者が確認された場合は、理由等のヒアリングを実施し、警告を行う。

3 効果

- 入札参加資格要件を満たさない者の応札を抑制する。
- 抜打ち審査の結果を踏まえ、今後入札契約制度の改善につなげていく。

4 適用時期

平成31年4月の公告案件から実施